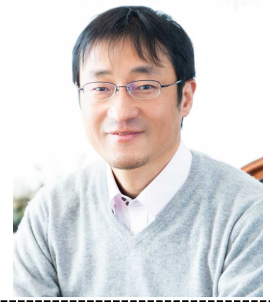


課題名：介護・医療分野における「ケア」天気予報サービスの創出

研究開発代表者：井上創造 九州工業大学・大学院生命体工学研究科 教授

共同研究機関：大阪大学、名古屋大学



目的：介護や医療において、IoTとビッグデータを合わせて少し先、またはしばらく先の未来を予測し、それにより介護・医療の効果と生産性、そして満足度を同時に高める社会を創造する。

研究概要：

介護や医療においてケアする人、される人の将来の身体・心理状態を予測できる「ケア」天気予報サービスを研究開発する。

通常の天気予報とは異なる、「ケア」の対人性と個人性に自動的に適応する連合学習技術および能動学習・データ開拓技術に取り組むことで、不穏行動・事故リスク・排泄などの生理状態といった身体的予報や、認知症の心理状態やスタッフの労働意欲といった心理的状态の予報を可能とする。

介護・医療の質の向上とコスト効率化を実現できることを、実フィールドで実証し社会受容性を実証する。

目指す将来像（5年後を目安とする）：

心から納得できる**プロアクティブ**なケアのための予報サービス

質の向上、後悔のないケア：適切な訪問タイミング、体力低下・フレイルを予知して予防、適切なタイミングでの家族連絡、高齢者の尊厳・家族の納得感を科学する

効率化：失禁を予測して早めにトイレ案内、ナースコールの前に声かけ、車椅子から立ち上がる前に近寄って用を聞く、不穏の原因を回避

期待する共同研究・事業連携先：

- ・ 介護業界にシステムを導入しているITベンダー
- ・ 研究に協力いただける介護事業所

連絡先：<https://sozolab.jp/contact>

